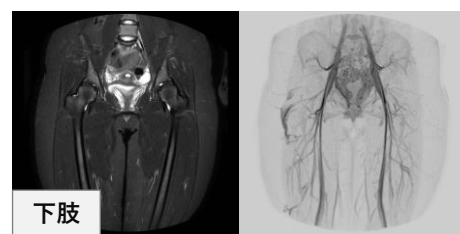
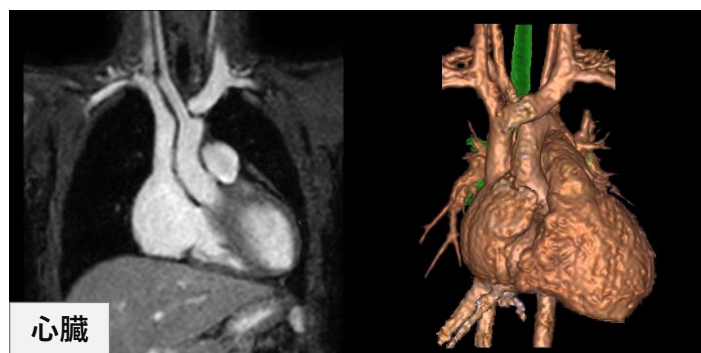
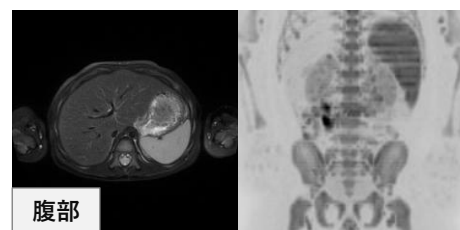
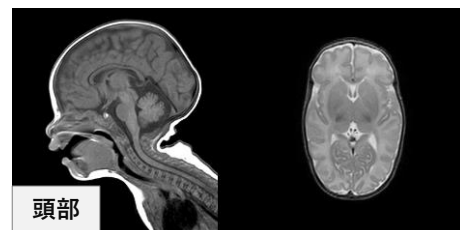
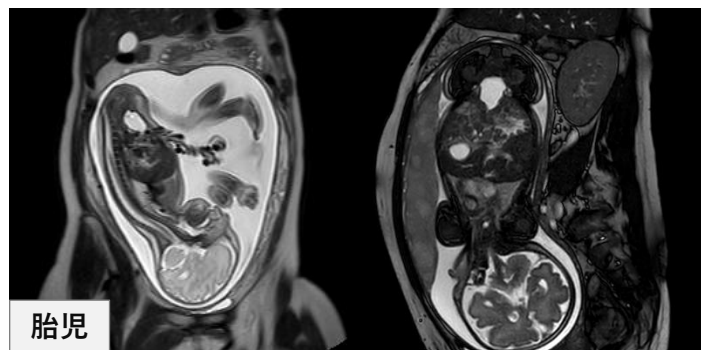


MRI検査について

検査の概要

画像診断装置には一般撮影装置(レントゲン撮影装置)やCT装置、超音波診断装置など多くの装置があります。その中でMRI装置は強い磁場と電波を利用して体の中を調べます。MRIの原理は非常に複雑ですので詳しくは省略しますが、装置は強力な電磁石でできています。装置から生じる磁場の中で人体に電波を照射しいろいろな操作をすると今度は人体から電波が返ってきます。操作の条件を変化させることでさまざまな部分が協調された画像を作ることができます。そうして病気を目に見える形に画像化することで診断に役立っています。検査内容によって造影剤を使用することもあります。



検査はトンネルのような筒の中に入って通常30分から60分程度行います。放射線は一切使いませんので成人はもちろん、小児には有用な検査です。ただし、強い磁場を用いて行う検査のため金属(主に磁性体)の持ち込みは大変危険です。検査される方は衣服等に金属のない支度でお越しください。体内に金属がある場合には事前にお知らせください。

小さいお子様の検査

MRI検査中は、電気的な振動により大きな音がすること、検査中の小さな動きでも画像がブレてしまうことから体の動きを完全に抑える必要があります。そのため、小さいお子様は眠くなるお薬(鎮静剤)を飲んでしっかり眠った状態で検査します。その際は鎮静に関して検査前後に気を付けていただく点についても説明いたします。なお、検査中はお子様の様子をモニタ等で観察し安全に努めています。